

将来の認知症のリスクが 気になる方へ



当院では「プレクリニカルアルツハイマー病」の治験に参加してくださる方を募集しています。

【プレクリニカルアルツハイマー病とは】

認知症の原因の一つである「アルツハイマー型認知症」では、脳内にアミロイドベータという小さなたんぱく質が貯まっていくことがきっかけになって、しまいには、脳の細胞が壊れて記憶の障害などの症状が現れると考えられています。「プレクリニカルアルツハイマー病」は、異常なたんぱく質の蓄積のみが認められ認知症状がまだ認められない段階で、これまでの研究から、この段階にある方は、認知症の段階である「アルツハイマー型認知症」に進行しやすいことが分かっています。

【この治験に参加いただける方】

- 現在、認知機能の障害が認められない方
- この治験に参加する際に実施するアミロイドPET検査で脳内にアミロイドベータの蓄積が認められる方
- 年齢が55～80歳の方（65歳未満の方は要件がございます）
- 治験で規定された時点で来院し、治験に参加される方の生活状況について情報提供可能なスタディパートナーがいらっしゃる方

※ほかにもいくつか基準があります。本治験について詳しくお話をお聞きになりたい方、参加を希望される方は、下記お問合せ先にお気軽にお問い合わせください。

【募集期間】

2021年2月～2023年5月

※予定より早く終了する場合や延期する場合があります。

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
責任医師：塚本 忠

お問い合わせ先：臨床研究推進部 臨床研究・治験推進室

＜電話＞042-341-2712（内線）7289 受付時間：9:00～17:00（平日）

